



東京府豊島  
師範學校教諭

山本正夫著

音  
樂  
の  
學  
習

東京大明堂發行



登山

第一篇  
本論

M.M. ♩ = 114

1. ハルカニソバダツミヤマヲサシテ  
2. くもゝるたかやまみそらにながーめ

クモツクオホキノシタミチユケーバ  
こごしきそばちーをよぢつつゆけーば

オチバーノササヤーキノゾエヲフクカゼ  
たにまーのみづゑーとこぞゑになくとり

ラララララララララララララララ  
ららららららららららららららら

登山

犬童球溪作歌

- 一、遙に聳だつみ山をさして  
雲衝く大木の下路ゆけば  
落葉のさゝやき梢を吹く風  
ララララララララララ  
ラララララララララ
- 二、雲居る高山み空に眺め  
こごしき岨路をよぢつゝ行けば  
谷間の水音梢に鳴く鳥  
ラララララララララ  
ラララララララララ

(變格小節より成れる樂曲例、)

山紫水明

音樂の學習

M.M. ♩ = 80

1. カスメルソラカトマガヒニホフ  
2. かりなすにしきとまがひにほふ

アラシノミヤマヲツツムサクラ  
あらしのみやまをつつじもみぢ

スミタルオホキノカハニウツル  
すみたるおほのかはにうかぶ

スガタヤウルハシツキヌナガーメ  
すがたやうるはしつきぬながーめ

- 一、霞めるそらかと  
嵐のみやまを  
すみたる大井の  
すがたやうるはし  
まがひにほふ  
つゝむさくら  
かはにうつる  
つきぬながめ。
- 二、織りなす錦と  
嵐のみやまを  
すみたる大井の  
すがたやうるはし  
まがひにほふ  
つゝむもみぢ  
かはにうかぶ  
つきぬながめ。

(變格小節より成れる樂曲例、)

である。況んや教育者たらんとする人に於てをやである。わけて検定試験規則の何條かに、「不正の方法によつて、試験を受けむとしたものは受験資格を喪失する。」との明文があるのを知らねばならぬ。

三、受験場にて 先づ規則に従へ。如何なる微細なことでも、「受験者心得」の示して居ることに違背しないやう注意を要する。期日がちがつたり、時間を誤つたり、順序や行動を誤つたりすると、折角學科や技術に於て立派に合格して居る人が、遂に九仞の功を一簣で水泡に委する場合が多い。洵に惜しむべく恨むべき事である。

次はよく落着いて何事にも萬全を期すべく、努力することが大切である。決して輕率であつたり、急速であつたりしてはならぬ。尤も悪いのは、自分で勝手に見きわめをつけて、棄權をしたり、自暴自棄になつたり、中絶中止、中弛みしたりする事である。一失あらば必ず一得を以て取戻せ、一敗あらば直ちに一勝を作れ。ねばり強く、寧ろ押し強く、謹嚴に、誠實に、一身を挺して、心一ぱい、力一ぱい、汝の爲し得る最善を盡し、必ず頑張り通すべきである。讀者諸君の大成功を希望して已まぬ。經に曰く

「最後まで忍ぶものは幸也。」

### 音樂の學習終

昭和五年七月十三日印刷  
昭和五年七月十六日發行

音樂の學習

定價金貳圓八拾錢

#### 不許複製

著者 山本正夫  
 發行者 東京市神田區小川町三十七番地 神戸文三郎  
 印刷者 東京市牛込區榎町七番地 竹内喜太郎

#### 發行所

東京市神田區小川町三十七番地  
電話 神田 二二三二九番  
振替東京 四七七八八番

大明堂書店

一行印社會式株刷印請日一